

学校の管理下の死亡・障害事例と 事故防止の留意点

〈平成20年版〉

特集：転落事故防止の留意点

独立行政法人日本スポーツ振興センター

は し が き

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校の管理下における児童生徒等の災害に対して災害共済給付（医療費、障害見舞金、死亡見舞金）を行っています。さらに災害共済給付業務によって得られる事例の収集、分析、関連情報の提供など児童生徒等の安全を確保するための支援事業を行っています。

具体的な災害発生件数に目を向けますと、医療費の発生件数は前年度に比べて減少傾向にあり、平成19年度は121万2857件（平成18年度122万2416件）となりました。ただし、加入者数で割ると、発生率の変化はないようです。

医療費の給付件数は前年度と比較して若干の増加傾向にあり、平成19年度は216万7806件（平成18年度216万1943件）となりました。死亡見舞金の給付件数は75件（平成18年度74件）、障害見舞金の給付件数については、497件（平成18年度506件）となっています。

本書は、学校の管理下で発生する災害の中で、子どもたちの将来の健やかな生活に最も深刻な影響を及ぼす障害と死亡の災害発生事例に焦点をあて、平成19年度に給付した死亡見舞金、障害見舞金及び供花料を支給した事例を掲載しました。

なお、掲載に当たり、実態が把握しやすいように、「学校種別」及び「災害発生の場合別」に分類してあります。

また、災害防止の専門的な見地から分析した「学校生活における事故防止の留意点」を掲載しました。学校種別に事故の傾向を把握し、その防止のための留意点を紹介しています。さらに、特集として、今回は「学校の管理下における転落事故防止」を取り上げました。参考資料として、文部科学省から出された「転落事故防止を中心とした対策」についての有識者による検討結果も掲載しました。

この「学校生活における事故防止の留意点」及び「転落事故防止の留意点」に関しては、愛知教育大学 内田先生をはじめ多くの先生方に御執筆いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

災害には、予期できないものや防ぐことが非常に困難な事例がある一方、前もって危険の予測が可能であったり、事後の処置を的確に行えば、被害を最小限に抑えることが可能なものがあります。この事例集によって事故の発生のメカニズムを知り、それぞれの学校の設備・施設の点検・改善を行っていただくとともに、この事例集がそれぞれの学校の実態に応じた安全教育の参考資料として、関係者の皆様に御活用されるよう願っております。

平成21年3月

独立行政法人日本スポーツ振興センター

本書の利用に当たって

- 1 本書は、学校の管理下における児童生徒等の災害として、平成19年度に独立行政法人日本スポーツ振興センターが「死亡見舞金」、「障害見舞金」及び「供花料」を支給した全事例756件を整理、分類し、統計的に死亡、障害の発生の傾向を示すとともに、発生状況を掲載したものです。
- 2 構成は、「死亡編」、「障害編」、「供花料」の3編に分け、それぞれの事例を掲載しています。
- 3 「供花料」における支給対象事例とは、学校の管理下における死亡で、損害賠償を受けたこと等により、死亡見舞金が支給されなかった災害事例のことです。
- 4 学校種は、「小学校」、「中学校」、「高等学校」、「高等専門学校」、「幼稚園」、「保育所」及び「特別支援学校」に分類しました。
- 5 事例は、各教科（保育中）、特別活動、学校行事、課外指導、寄宿舎及び通学中（通園中）での事故に分類しました。なお、道徳・自立活動・総合的な学習の時間については編集の都合上、各教科に含め、また、学校行事は通常であれば、特別活動に含まれますが、特に事例が多いため別立てとしてあります。
- 6 「事故防止の留意点」を掲載しました。本書が平成19年度に給付した死亡、障害を対象としているところから、この範囲の事例について述べるとともに、学校で日頃留意すべき点についても述べました。なお、記述については、以下の先生方に依頼しました。

学校生活における事故防止の留意点

- (1) 小学校編 島根県出雲市立檜山小学校 校長 木次 勝義 氏
- (2) 中学校編 東京学芸大学 教授 渡邊 正樹 氏
- (3) 高等学校・高等専門学校及び特別支援学校編
国立淡路青少年交流の家 所長 戸田 芳雄 氏
(前文部科学省 スポーツ青少年局 体育官)
- (4) 幼稚園・保育所編 聖徳大学 准教授 原本 憲子 氏

- 7 特集は、「転落事故防止の留意点」としました。
平成19年度の災害共済給付事例から見た転落事故の傾向と課題を当センターの職員が記述しました。多様な側面からの転落事故防止の現実的・具体的な方法についての記述に関しては、愛知教育大学教育学部 講師 内田 良 氏に依頼しました。また、文部科学省から出された「転落事故防止を中心とした対策」についての有識者による検討結果を掲載いたしました。
- 8 巻末に参考資料として平成19年度の災害共済給付の状況等を収めました。
- 9 事例の内容については、個人情報に触れることがないように、学校名、個人名、地名等は除いてあります。なお、欄の記載内容はそれぞれ次のとおりとなります。

【死亡編】	事例番号	被災時学校種学年・性別	死亡時傷病名
-------	------	-------------	--------

【障害編】	事例番号	被災時学校種学年・性別	障害種類別名
-------	------	-------------	--------

(複数症例の場合は、一番重い症例)

目 次

I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数（場合別・死因別）一覧	10
1 小学校における死亡の事例	
〔I〕各教科	11
〔II〕休憩時間	12
〔III〕通学中	12
2 中学校における死亡の事例	
〔I〕各教科	13
〔II〕特別活動	13
〔III〕学校行事	14
〔IV〕課外指導	14
〔V〕休憩時間	15
〔VI〕通学中	16
3 高等学校における死亡の事例	
〔I〕各教科	17
〔II〕学校行事	17
〔III〕課外指導	18
〔IV〕休憩時間	21
〔V〕寄宿舎	21
〔VI〕通学中	22
4 高等専門学校における死亡の事例	
〔I〕課外指導	23
〔II〕休憩時間	23
5 特別支援学校における死亡の事例	
〔I〕各教科	24
〔II〕休憩時間	24
〔III〕通学中	24
6 幼稚園における死亡の事例	
〔I〕保育中	25
7 保育所における死亡の事例	
〔I〕保育中	26

Ⅱ 学校の管理下の障害の状況

◇ 学校の管理下の障害の発生件数（場合別・障害別）一覧	28
1 小学校における障害の事例	
〔Ⅰ〕 各教科	29
〔Ⅱ〕 特別活動	33
〔Ⅲ〕 学校行事	35
〔Ⅳ〕 課外指導	35
〔Ⅴ〕 休憩時間	37
〔Ⅵ〕 通学中	44
2 中学校における障害の事例	
〔Ⅰ〕 各教科	45
〔Ⅱ〕 特別活動	47
〔Ⅲ〕 学校行事	48
〔Ⅳ〕 課外指導	49
〔Ⅴ〕 休憩時間	55
〔Ⅵ〕 通学中	59
3 高等学校における障害の事例	
〔Ⅰ〕 各教科	61
〔Ⅱ〕 特別活動	64
〔Ⅲ〕 学校行事	64
〔Ⅳ〕 課外指導	66
〔Ⅴ〕 休憩時間	74
〔Ⅵ〕 通学中	75
4 高等専門学校における障害の事例	
〔Ⅰ〕 各教科	77
〔Ⅱ〕 課外指導	77
〔Ⅲ〕 休憩時間	77
5 特別支援学校における障害の事例	
〔Ⅰ〕 各教科	78
〔Ⅱ〕 休憩時間	78
〔Ⅲ〕 通学中	79
6 幼稚園における障害の事例	
〔Ⅰ〕 保育中	80
7 保育所における障害の事例	
〔Ⅰ〕 保育中	82

Ⅲ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の状況

◇ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の発生件数（場合別）一覧	86
1 小学校における供花料支給対象の死亡の事例	
〔Ⅰ〕通学中	87
2 中学校における供花料支給対象の死亡の事例	
〔Ⅰ〕通学中	88
3 高等学校における供花料支給対象の死亡の事例	
〔Ⅰ〕各教科	89
〔Ⅱ〕課外指導	89
〔Ⅲ〕休憩時間	89
〔Ⅳ〕寄宿舎	90
〔Ⅴ〕通学中	90
4 高等専門学校における供花料支給対象の死亡の事例	
〔Ⅰ〕通学中	94

Ⅳ 学校生活における事故防止の留意点

1 小学校における事故防止の留意点	96
2 中学校における事故防止の留意点	106
3 高等学校・高等専門学校における事故防止の留意点	113
4 特別支援学校における事故防止の留意点	122
5 幼稚園・保育所における事故防止の留意点	123

Ⅴ 特集: 転落事故防止の留意点

1 災害共済給付事例から見た学校での転落事故の傾向と課題	132
2 転落事故防止の留意点	140
3 (参考資料) 文部科学省からの検討結果報告	154

Ⅵ 参考資料

1 障害・死亡見舞金・供花料の状況（平成19年度）	162
2 死亡見舞金の額と給付の対象となる災害の範囲	163
3 障害見舞金の等級別障害程度一覧	163
索引	167